

第2回 北関東災害対策研修の報告

群馬県介護支援専門員協会 副会長 中西 有美子

2023年7月8日(土)にWeb研修で、第2回北関東災害研修会が行われました。主催は栃木県、茨城県、群馬県の介護支援専門員協会合同で行い、約300名の方々にご参加頂きました。研修のテーマは、『災害・被災のリアルから学ぶ、今後の対策について～2011年3月11日(金)14:46…あなたはその時、どんな行動をとりましたか?～』です。講演を聞きながら、東日本大震災のニュースを目にした時の信じがたい情景を思い出してしまいました。

特別講演「大規模災害時の医療保健福祉の役割」を宮城県薬剤師会相談役・宮城県ケアマネジャー協会石巻支部長の丹野佳郎様に講演していただきました。講師の話の中で、「今まで津波はここまではこなかった」の経験が避難を遅くし、被害を大きくしたとの話がありました。経験での判断ではなく、もしもの場合を想定して、早めに避難する事が大切だと感じました。そして、平時の時から準備は大切です。災害が起きた時のシミュレーションをしておく、何処にどういった災害が起きやすいかハザードマップなどで確認しておくことが重要です。被災地での何が必要かどのような支援が必要か、短期的な問題や長期的な問題など、被災地で支援を行った丹野講師の話はリアルで、被災現場が目に見えそうな話でした。

「宮城県での被災体験をしたケアマネジャーから学ぶ今後の対策」を茨城県介護支援専門員協会・災害対策委員の澤野智彦様に、東日本大震災の時にケアマネジャーとしてどういった動きをしたかのお話を聞きました。自分の事業所も震災にあい、管理者と合流できたのは震災から5日後だったとの事です。利用者の安否確認、避難場所の把握をしましたが、生存の確認をする事だけしかできなかったとの事です。災害の時は各々が自身の安全の確保を行う事を第一優先に考え、命を守る事が大切だと学びました。

「災害キッチン」～備蓄食料で作れる災害飯～は、群馬県介護支援専門員協会災害対策委員・食育防災アドバイザーの中島麻衣子様に、「パッククッキング」(耐熱性のポリ袋に食材を入れ、そのまま鍋で湯煎する調理方法)を紹介していただきました。ツナとトマトのパスタやレーズン蒸しパンなど簡単に作ることが出来、被災地でもいつも食べ慣れた食事が摂れることは、気持ちが安らぐことだと感じました。

この研修で学んだ事を業務に活かし、ハザードマップを見て危険な地域が何処なのか、自分の地域の避難場所は何処なのかを利用者の方々と一緒に把握し、必要な防災グッズを揃え準備していく事が大切だという事をケアマネジャーとして伝えていきたいと思いました。



県協会員スキルアップ研修

研修年間計画に基づき群馬県介護支援専門員協会スキルアップ研修が始まっています。第1回目は自然災害におけるBCP策定のポイントというテーマにて93名のご参加をいただきました。研修にご参加いただいた会員の皆様に今後取り上げてほしいテーマや内容について伺いましたが、感染症対策、虐待の防止、アドバンスケアプランニング、ハラスメント対策、制度改正、ヤングケアラー、対人援助技術、人材育成や業務効率化、またBCPについて更に引き続き継続研修を実施していただきたいとのお声をいただきました。

ご安心ください！私たちはニーズを外しません！年間計画の中に概ね皆様のご希望は含まれております。コロナ禍の3年半、会員の皆様にとって必要な研修、会員相互の交流機会を得ることが叶わずご苦勞されていたことと思います。このスキルアップ研修の目的は会員の皆様が「今」欲しておられる研修や学びを実施させていただくこと、地域を超えて会員相互交流の機会を提供してゆくことを柱としております。

具体的に今年度は運営基準に関連し令和6年4月1日より義務化される業務継続計画、感染症の予防及びまん延防止のための措置、虐待の防止措置への対策はもとより職能団体が実施する主任介護支援専門員の更新要件を満たす法定外研修の実施、薬剤師との連携、アドバンスケアプランニング看取り期におけるケアマネジメント、適切なケアマネジメントの手法の理解、スーパービジョン、制度改正、ハラスメント対策等、概ね月1回程度、無理なく参加いただける企画が予定されております。また昨年度も実施いたしました居宅ケアマネジャー親睦会、施設ケアマネジャー親睦会、その他お楽しみ企画なども今後順次準備されてゆきます。県協会ホームページにアップされます研修案内、メール配信サービス、広報誌等で予定をご確認いただき無理なくご参加いただきますようお願いいたします。

2023年度 県協会員スキルアップ研修スケジュール (案)

カテゴリー/月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本協会			10/21、22 全国大会				群馬フォーラム (日時未確定)					
法定外研修	業務継続計画研修：業務継続計画 (BCP) 作成と災害対策机上訓練、BCP 作成のポイント～事業所として、主任介護支援専門員としての視点について～	地域資源とは地域資源の見つけ方や活用方法について「地域と支えあい」～福祉の視点から地域課題を考える～「地域福祉の考え方」地域福祉の捉え方とケアマネジメント	主任介護支援専門員としての看取り期における介護支援専門員への心構えと支援への助言・スーパービジョン、サポート方法	虐待の防止、権利擁護が必要な人を適切に支援につなげるため、主任ケアマネジャーとして知っておくべきこと 権利擁護とケアマネジメント よりよい支援をするために 高齢者虐待の対応について 虐待のサインを見逃さずに対応できる介護支援専門員を育てる主任介護支援専門員の役割について	スーパービジョンの基礎知識、スーパービジョン技法の取得 主任ケアマネとして、自らの課題に向き合う 事例を活用したスーパービジョンの留意点とその実践 スーパービジョンを日々の実践に活かすために留意すべきこと 人材育成のためのスーパービジョン	リハビリ専門職と介護支援専門員の相互の連携方法を助言・サポートする						
担当理事	中島	松沢	新井薫	須田	小沼	新井健五						
学術研修企画	薬剤師と連携しよう！在宅における連携、居宅療養管理指導	①ACP研修 (医師)：ACPも包括した、介護支援専門員にとって必要な論理的視点 ②介護支援専門員研修I修了者フォローアップ研修：認知症と精神疾患	①在宅及び施設における感染症の予防及びまん延防止のための措置についての勉強会 ②主任介護支援専門員が在宅医療で支援する際の基本ケアを理解し活用ポイントを学ぶ (法定外研修)	適切なケアマネジメントの手法の理解、適切なケアマネジメント手法を知ろう	①制度改正に関する勉強会 ②介護支援専門員実務研修終了者向けウェルカム研修	介護現場におけるハラスメント対策～メンタルヘルス不調者への対応から、働きやすい職場環境を考える～ハラスメント対策の強化 ～介護支援専門員を離職させないためのメンタルヘルスケア～						
担当理事	島田	大澤	菅野	中西	太田	飯嶋						
総務財政企画	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)	①定例ケアマネ親睦 (居宅・施設) 交流会 (仮称) オンライン・対面 ②お楽しみ企画：業務以外でのお楽しみ、息抜き、相談できる関係作り (お茶会・食事会・季節行事・自主クラブ活動)						

- 全理事が協力し企画運営にあたり、平均して月1回以上の研修会を実施できるよう準備を進めてゆきます。
- 研修会のご案内は、会報、ホームページ、メール配信サービス、ソーシャルメディア等でご案内いたします。
- 諸事情により、開催時期や内容、担当を変更することがございます。あらかじめご了承ください。

「自然災害におけるBCP策定のポイント」 ～利用者と家族と自分を守るケアマネジメント～ 第1回スキルアップ研修開催報告

群馬県介護支援専門員協会 理事 災害対策委員 中島 麻衣子

令和5年度より当協会では、「スキルアップ研修」の実施に取り組むことになりました。この企画は、会員の皆さまの学びの機会を増やし、日頃のケアマネジメント実践に活かしていただくことを目的としています。

令和5年8月3日に、第一弾として、「自然災害におけるBCP策定のポイント」～利用者と家族と自分を守るケアマネジメント～というテーマにおいて、91名の方にご参加いただきました。

令和3年度の介護報酬改定の中で、義務化された業務継続計画（BCP）策定において、皆さんがなかなか着手できず気がかりであるということ踏まえ、少しでもお力になれるように、厚生労働省で示している雛形を参考に、項目の一つひとつに対し、なぜそのような備えが必要なのかという意図や、すぐに実践できる事柄なども織り交ぜながら心を込めてお話しさせていただきました。

日頃からのケアマネジメントの実践に落とし込み、形骸化されたBCPではなく、しっかりと機能するBCPの策定に取り組んで頂ければ幸いです。



松井田居宅介護支援事業所せせらぎ 横坂 由美子

令和5年8月3日(木)14時より日本介護支援専門員協会災害支援ケアマネジャー、群馬県介護支援専門員協会災害対策委員、中島麻衣子氏による「自然災害におけるBCP策定のポイント」～利用者と家族と自分を守るケアマネジメント～の研修会が開催されました。今回は自然災害における厚労省ひな形の具体的な記入内容を細かく、かつ適切にご講義いただきました。自然災害におけるBCPは、内容も膨大であり厚労省のひな型をやっと記入した段階で講義を受けさせていただきました。当事業所でも災害時利用者一覧表を作成すると意外に利用者さんから「私は、大丈夫」「ここの土地は、災害が起きたことがない」等の言葉が多く聞かれました。研修でもありましたが「正常化の偏見」を感じました。この特性に変化を与えながら自分や周囲の人の安全・安心・そして命を守ることが困難だが、大切であることを再度学ぶことができました。災害はまってくれないので、人と関わり支え合いながら命を守る準備・対策を考えていきましょう。

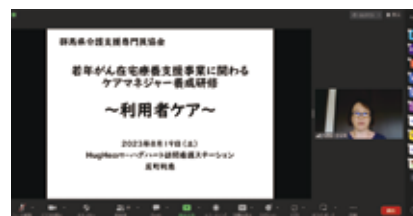
若年がん在宅療養支援に関わる ケアマネジャー養成研修(初任者研修)を受講して

安中市社会福祉協議会 浦野 貴代美

若年がん患者在宅療養支援事業内容、若年がん患者特有の課題、社会保障制度等、多くを学びました。20歳～39歳の若年がんの方の一番の課題である経済的負担が大きい事に対して、負担軽減を図る事業を群馬県は今年度から全ての市町村で実施、更に支援に関わった介護支援専門員に対して支援費の支給もある事に感銘しました。また、秦野先生からの社会保険制度説明や反町先生からの事例を通した講義では、心に刺さる場面や言葉がいくつもありました。「ケアマネの存在自体が、本人・家族のケアとして使われている」「医療支援の中心は訪看、生活支援の中心はケアマネ」と反町先生より頂いた言葉が特に胸に響きました。今迄の自分を振り返り、自分はどうかただだろう、これからどう支援を行っていけばいいのかと考える時間を与えて頂きました。これから、この言葉を常に心し、本人・家族の思いに寄り添い、多職種で思いの共有を行い、心が見える連携が出来るよう心掛けて行きたいと思っています。

匿名希望

今回、若年がん在宅療養支援事業に関わるケアマネジャー養成研修に参加させて頂きました。昨年からは若年がん在宅療養支援事業が開始され、今年は群馬県全市町村で利用出来、この事業が自分の住んでいる市でも始まっている事を知りました。今回の研修で、社会保障制度の内容やそれぞれの給付の相談・申請先を教えて頂き、自分自身も勉強になりました。また、利用者ケアについて、若い方の事例を聞かせて頂き、御本人の気持ちや家族・御本人の兄弟・それぞれの立場に寄り添うケアが必要になると思いました。事例検討のグループワークを通して意見交換を行う中で、若い方の支援では、制度や専門職・専門職以外の多くの人に関わりながら支えていく必要があり、今回の研修を活かして今後、若年がんの方が、「自宅で過ごしたい」との希望があれば、残された時間をその人らしく、笑顔で過ごせる様にお手伝いが出来ればと思いました。



「第19回ケアマネジメント群馬フォーラム in 西毛」 開催のご案内

大会
テーマ

「かぶらの風に乗って生き生き発信！！

～ありがとう、あなたがケアマネで良かった～

開催日時：令和6年2月10日（土）13:30～18:10（オンライン開催：Zoom）

介護老人保健施設ミドルホーム富岡 新井 健五

大会長の介護老人保健施設ミドルホーム富岡の新井健五です。

ケアマネジメント群馬フォーラムは県内3ブロック（北・中毛、東毛、西毛）で持ち回り開催をしております。今年度は西毛ブロックが担当となり、富岡・甘楽支部の主幹での開催となります。

これまで4回の実行委員会を重ね、ようやく皆様にご披露できる形になってまいりましたので、第一報としての開催案内を申し上げます。開催方法については、新型コロナウイルスの感染者状況を鑑み、今回もZoomアプリを使用してのオンライン形式での開催としました。感染予防というだけでなく、厳冬期であっても雪の影響を受けることなく、かつ遠方からであっても気軽に参加しやすくなっております。

プログラム概要は、3部形式となっており、第1部として大会長からのオープニング講演。続いて第2部として、FM群馬の朝番組『WAI WAI Groovin'』パーソナリティーで皆さんには大変おなじみの内藤聡さんを講師にお迎えして、「素敵なケアマネになるためのコミュニケーション術（仮）」と題しての楽しい講演と、Zoomのブレイクアウトルーム機能を活用してのコミュニケーション術ワークショップを行います。第3部は、前群馬県介護支援専門員協会長の折茂賢一郎先生を講師にお迎えして「地域を支えるためにケアマネジャーに期待すること（仮）」と題しての講演と、現協会長の大澤誠先生との新旧会長対談を予定しております。

どのプログラムも、日々疲弊・苦勞しているケアマネジャーの皆さんに元気がわき出るようなエールをいただける内容となっておりますので、ぜひご参加ください！



支部情報 新支部長挨拶

高崎・安中支部



会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度令和5年度の総会をもちまして高崎・安中支部の支部長に選任されました後藤伸吾と申します。どうぞよろしくお願い致します。

前任の中西支部長は任期も長く、多大な功績を残されてきました。その後を引き継ぐというのはとても重責ではありますが、今までの伝統を継承しつつ、更なる会の発展のために会員の皆様と共に歩んで参りたいと思います。今後も何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(パナケア真中(株) 高崎居宅介護支援事業所 後藤 伸吾)

多野藤岡支部



今年度より多野藤岡支部長を拝命いたしました、成瀬文雄と申します。新支部長の挨拶とのことですが、2回目のような気が…。いずれにしても、またこの立ち位置に戻って参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、コロナ感染症法上の位置づけが5類に移行したとは言え、医療機関や高齢者施設などでのクラスターが数多く発生しています。基本的な感染予防対策を十分に講じながら職務を遂行する日々がまだまだ続きそうです。

多野藤岡支部では昨年度よりZoomを活用したオンラインでの支部役員会議を始めました。Webに長けている役員が不在であり、まだ、研修会の開催までは至っておりませんが、役員の中でZoom班を決め、有効活用できるよう努めております。今年度は、感染状況が落ち着いていたこともあり、参集での研修会を5月に開催いたしました。今後、感染状況によりどちらでも対応できるよう進めて参りたいと考えております。

(藤岡市介護老人保健施設鬼石 成瀬 文雄)

コラム

第二の人生について

定年の年齢になると第二の人生を考えるとと思います。日本は継続雇用を選択して年金をもらう前まで、働く方が多いと思います。また、定年が徐々に65歳まで延長になっている状況もあります。外国（ヨーロッパ等）の方は、定年はハッピータイム（幸せな時）と考えているそうです。今まで一生懸命働いたので定年後は、ゆっくり幸せな時間を過ごす考え方です。日本人は働き者で自分のために、ゆっくり過ごすのは苦手なのかもしれません。

私も今年度61歳となり今後のことを考えるようになりました。70歳から年金をもらうと年金の金額が、だいぶ増額するという通知をよく目にします。しかし、年齢を重ね病気や充分動けなくなっただけから年金を多く貰っても仕方ないと思います。

今の時点が自分のターニングポイントと考えて、今後の人生を考えてみたいと思っています。来年は退職して、居宅介護支援事業所を設立し自分なりに地域に根差し、農業等も併用しながらゆっくり、ストレスのない時間を過ごそうと考えはじめました。

みなさんも仕事が多忙でストレスを感じる事が多いと思いますが、自分の今後のことを考えてみてはいかがでしょうか。
(基礎資格：看護師T)

事務局からのお願い

令和5年度会費の納入はお済みでしょうか 再度ご確認をよろしくお願ひいたします。

会員の皆様には日頃より本会の運営に関しましてご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、令和5年度会費の納入はお済みでしょうか。会費納入にご協力の程を、よろしくお願ひいたします。

また、本会では会員の皆様に会報や研修会のご案内をお送りしております。これらのご案内は次号から会費を納入下さった方の方に限定させていただきます。以後、会費納入の確認ができ次第ご案内をお送りする予定です。

未納の方には、振込用紙を同封いたしましたので、ご活用いただくか、クレジット決済をお薦めしておりますので、協会ホームページ <事務局より→入会情報ページ→入会申し込み専用ページ>より、お申し込みください。

また、ご不明な点等がございましたら、事務局までご連絡ください。

一社)群馬県介護支援専門員協会 事務局 (群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173

事務担当：新井



今年もかなり暑い夏でした。このケアマネ群馬の編集作業をしている9月も残暑が厳しく、35℃を超える猛暑日の日数も、過去最多になったようです。最近が一番良い季節の春と秋が短く、暑さ寒さが極端な感じがします。私たちが住んでいる群馬県は全国でも有数の暑い地域でもあり、来年も更に暑くなるのではないかとすると、今から憂鬱です。短いですが良い季節を楽しみたいと思います。
(S)